

肺癌外科的治療

外科

川真田 修

2011.7.14

【尾道市立市民病院オープンカンファレンス 2011年7月】

非小細胞肺癌

ガイドライン: stage I A—II Bは絶対的適応
stage III A —IVは相対的適応

小細胞肺癌

手術適応

絶対的 適応	stage I A	縮小手術(区域切除、部分切除)
	I B	} 術後治療
	II A	
	II B	
相対的 適応	III A	術前治療
	III B	拡大手術(他臓器合併切除)
	stage IV	

2004年肺癌全国集計

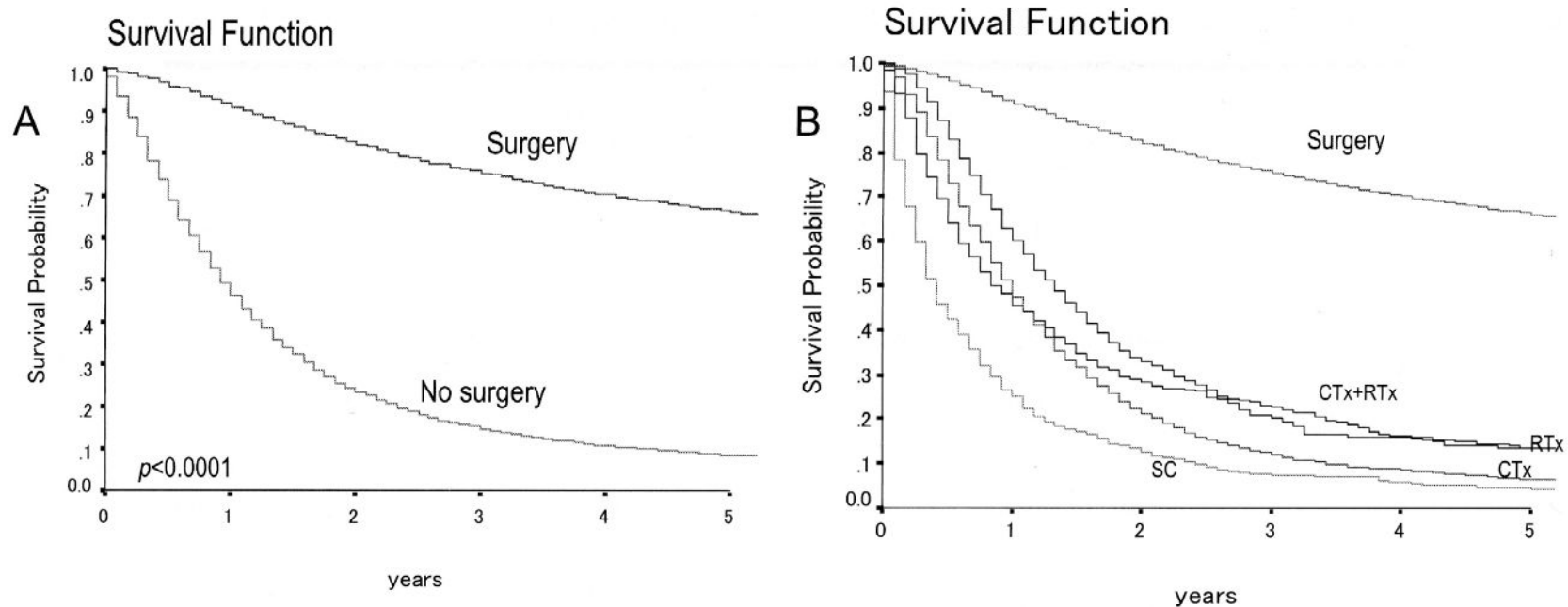


Figure 6. Survival curves according to treatment. The 5-year survival rate for surgery cases is 66.0% and for no surgery cases is 8.5%. CTx: chemotherapy, RTx: radiotherapy, SC: supportive care including chest drainage and pleurodesis. The 5-year survival rates and the p-values are shown in Table 7.

2000年1月から2009年12月までに当科で
切除した非小細胞肺癌240例を検討した

男158例(65.8%)
女 82例(34.2%)

45-89歳(平均68.7歳)

便宜的に前半の5年間98例と
後半の5年間142例に分けて検討した

00-04

男73例(74.5%)
女25例(25.5%)

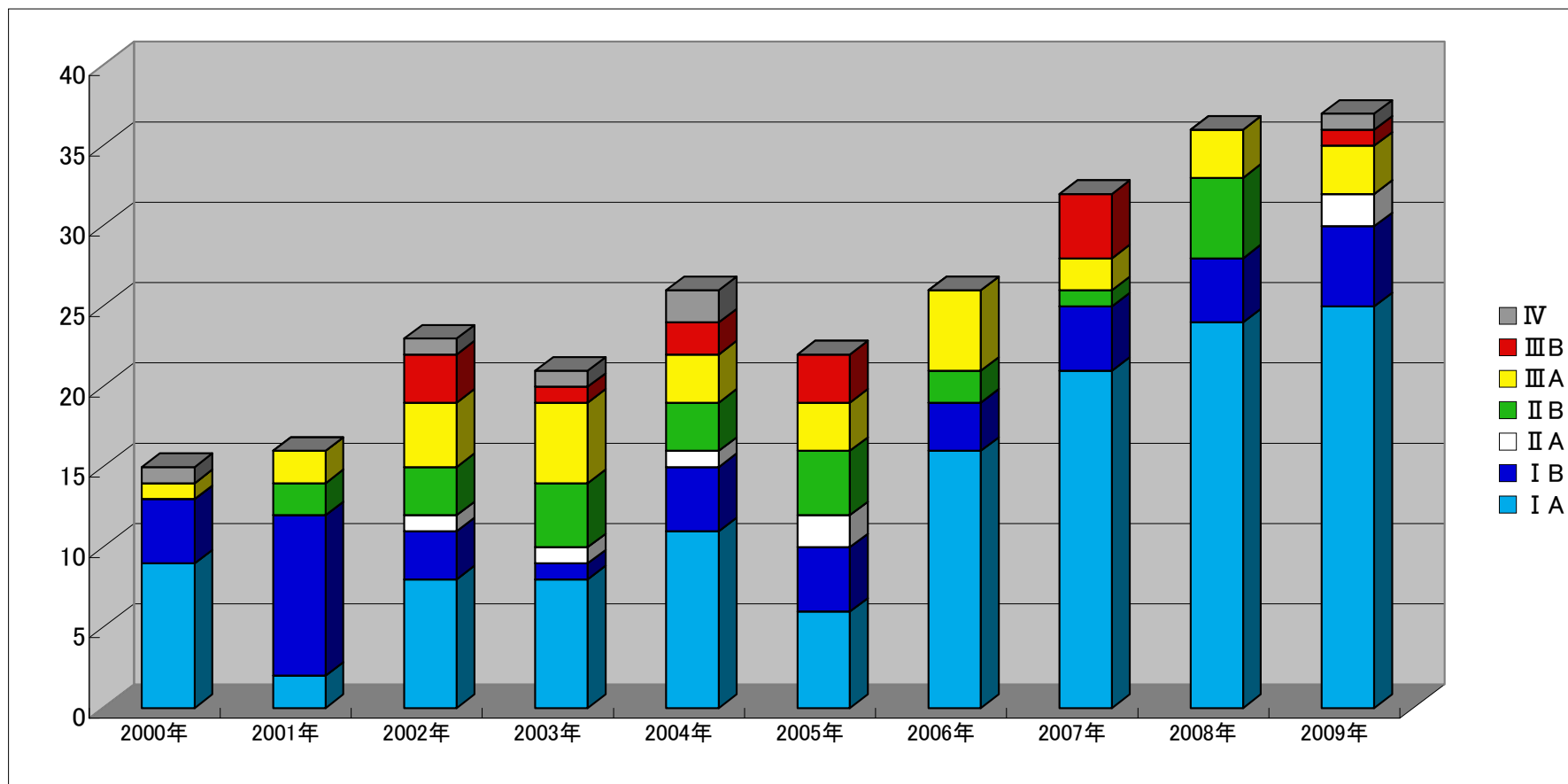
45-85歳(平均67.0歳)

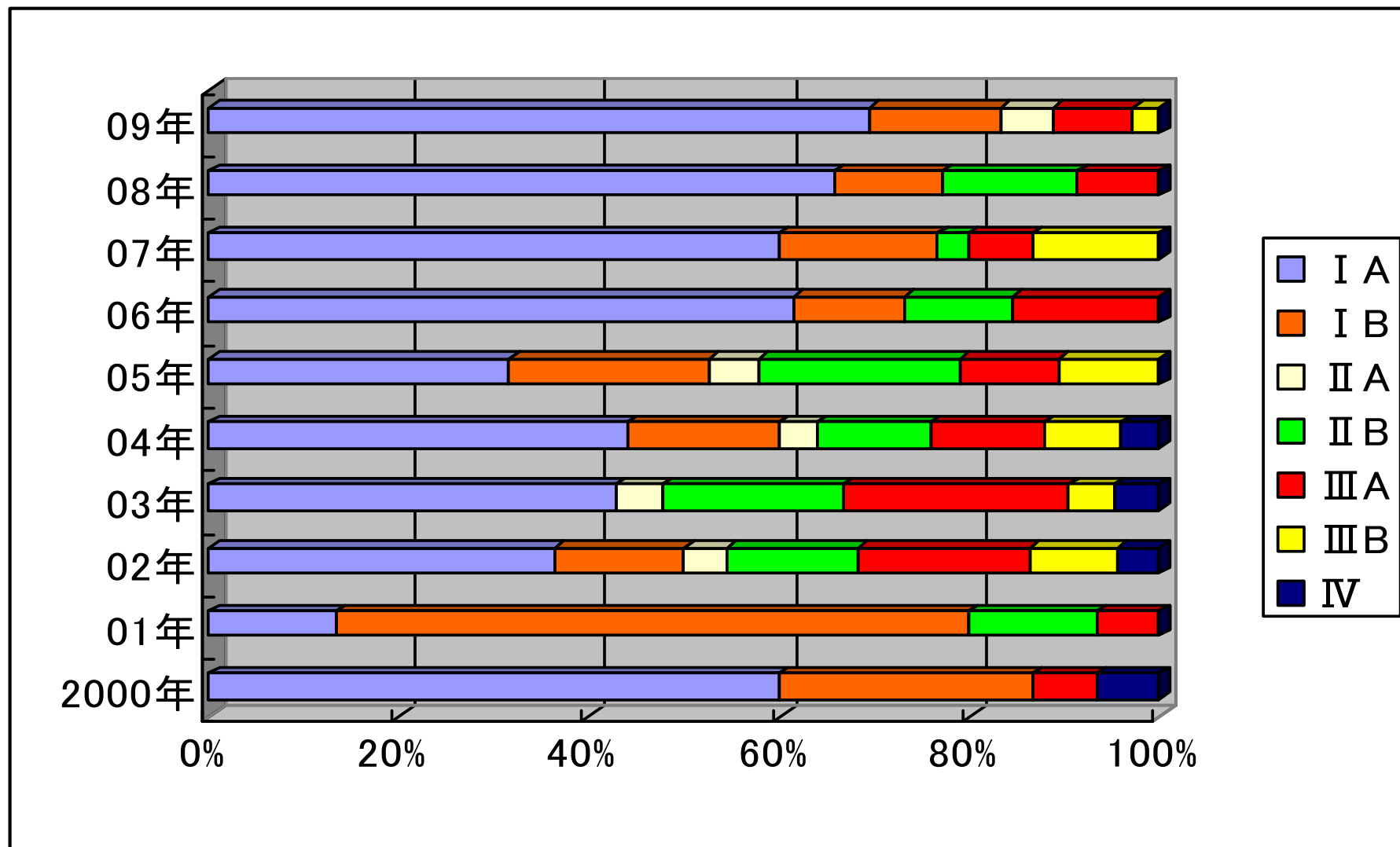
05-09

男85例(59.9%)
女57例(40.1%)

50-89歳(平均69.9歳)

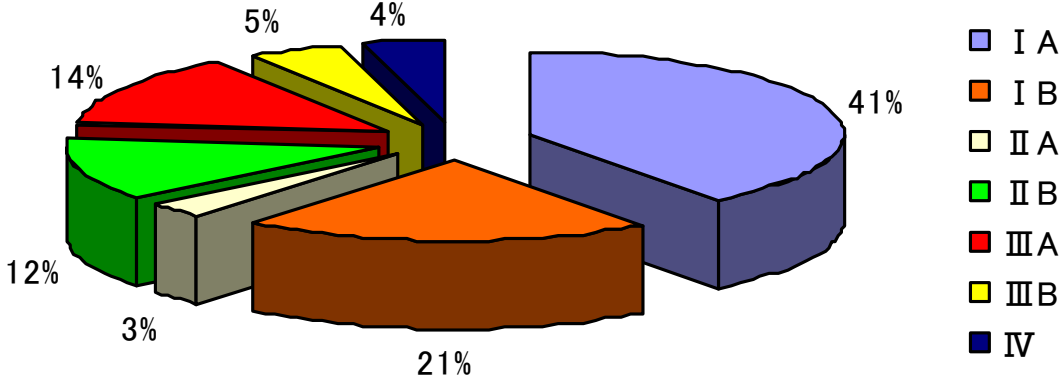
非小細胞肺癌病期分類



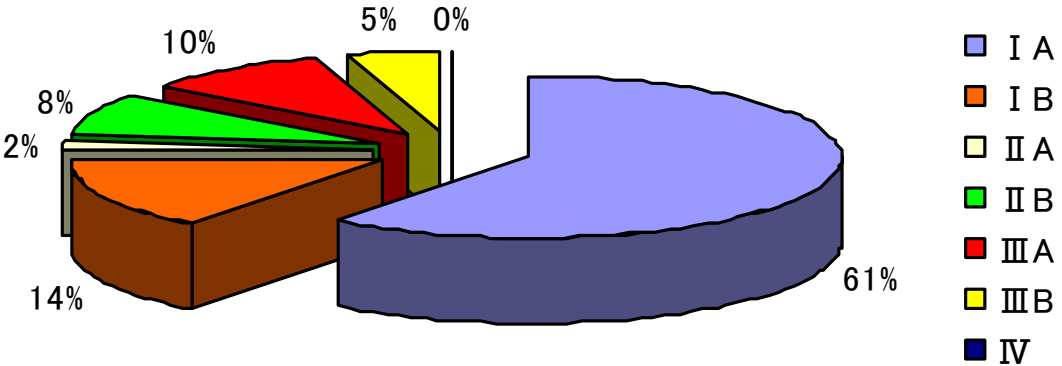


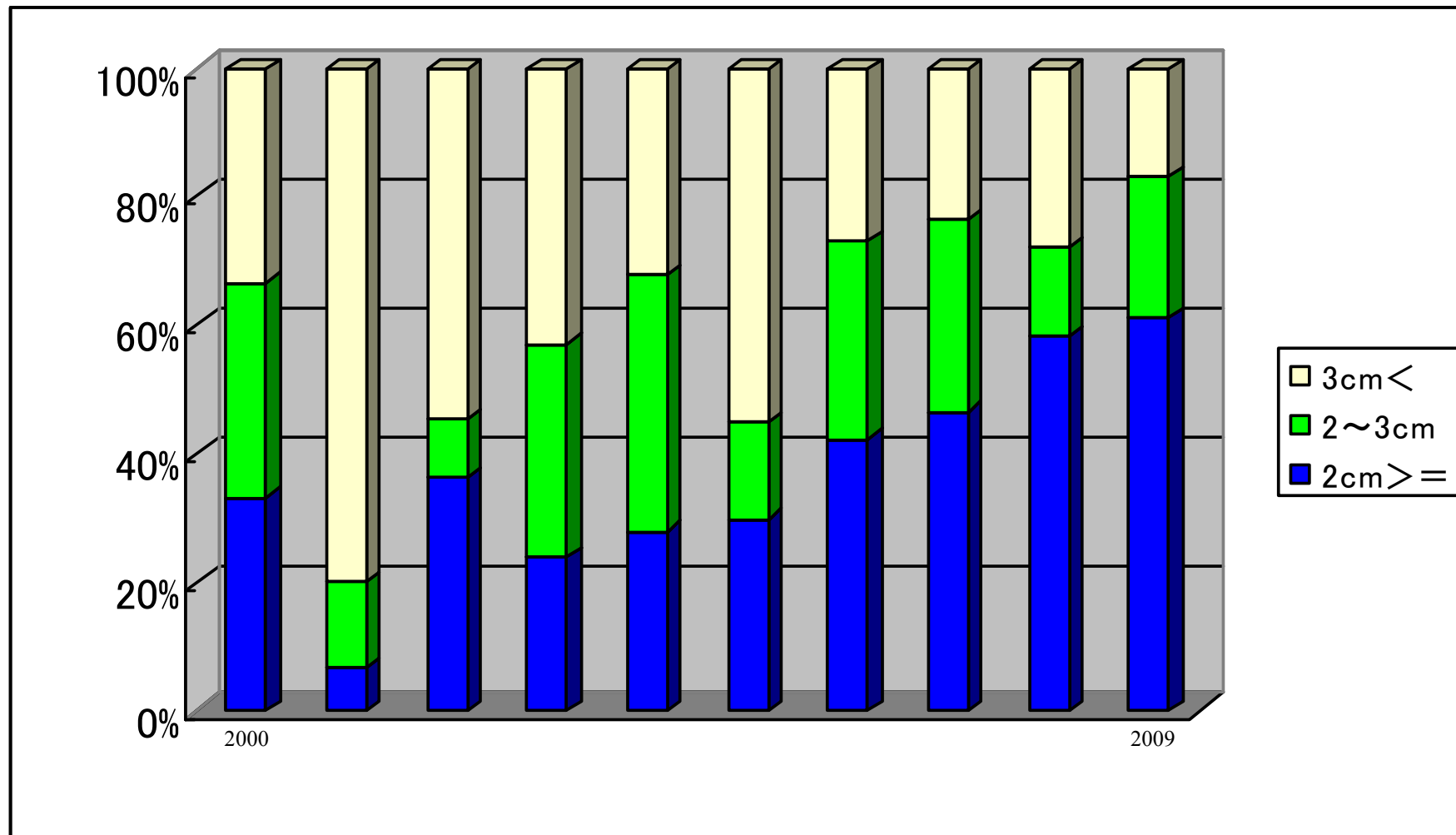
非小細胞肺癌病期別症例分布(全症例)

00-04年



05-09年

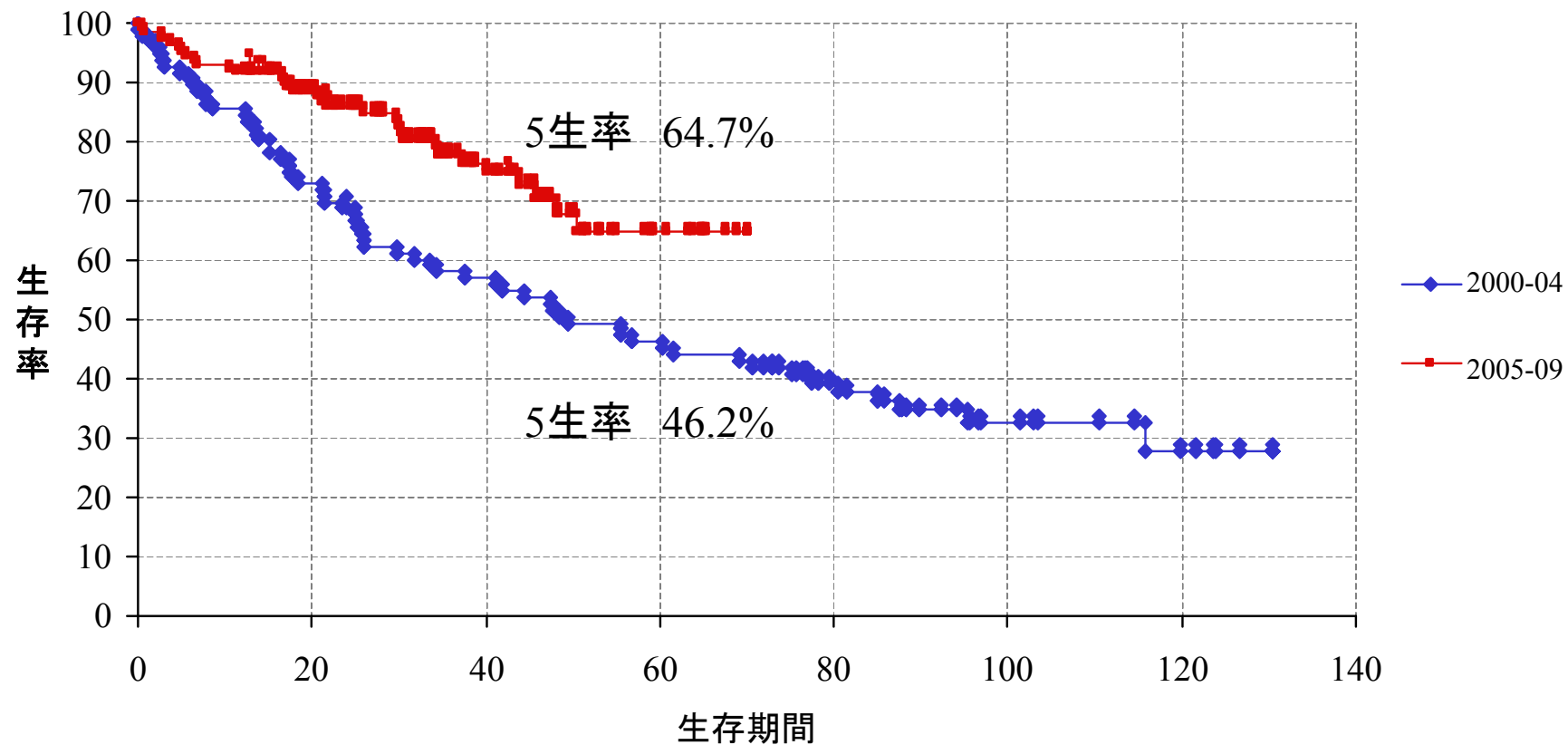




【尾道市立市民病院オープンカンファレンス 2011年7月】

非小細胞肺癌生存曲線

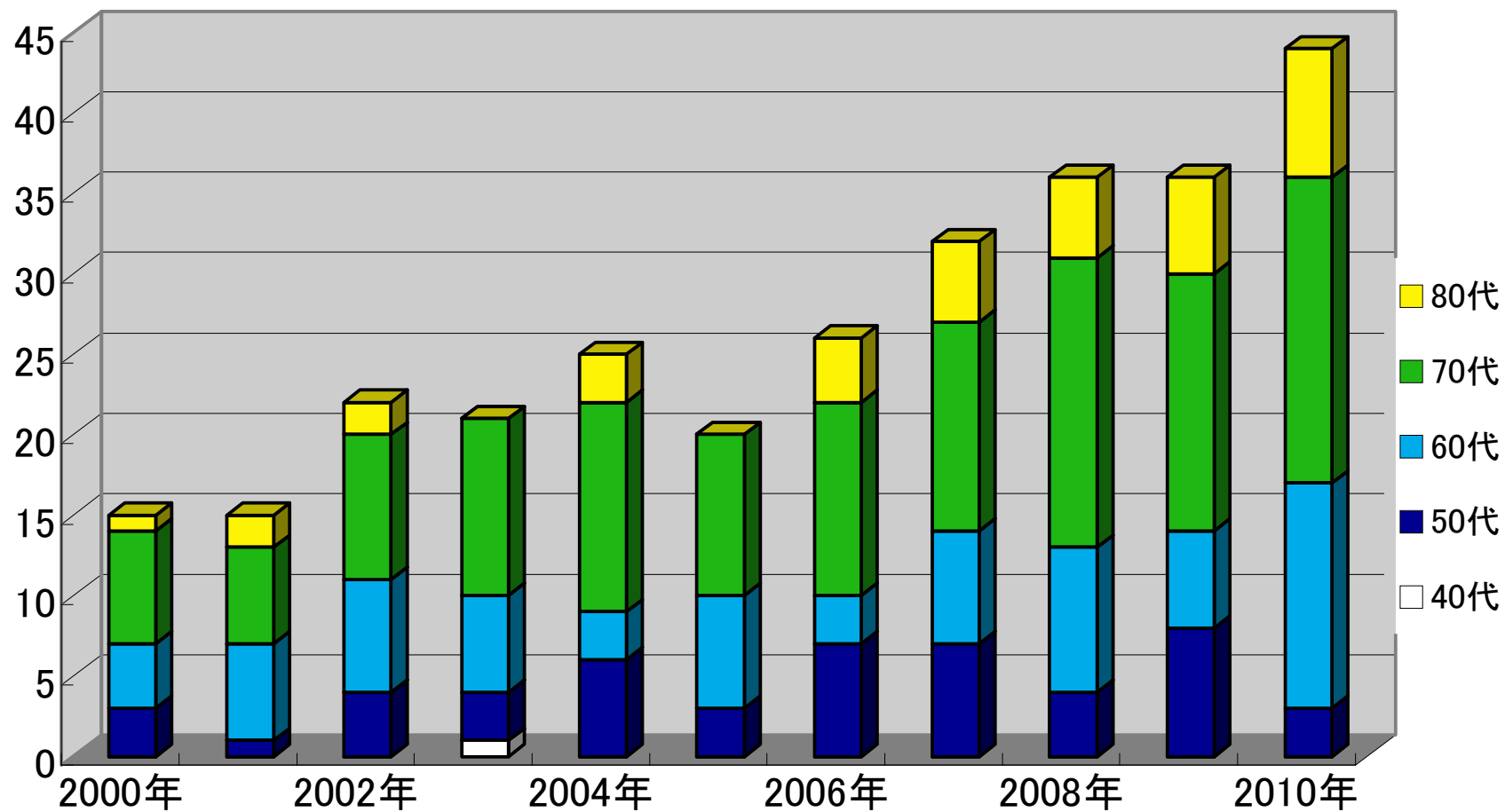
2000-09年



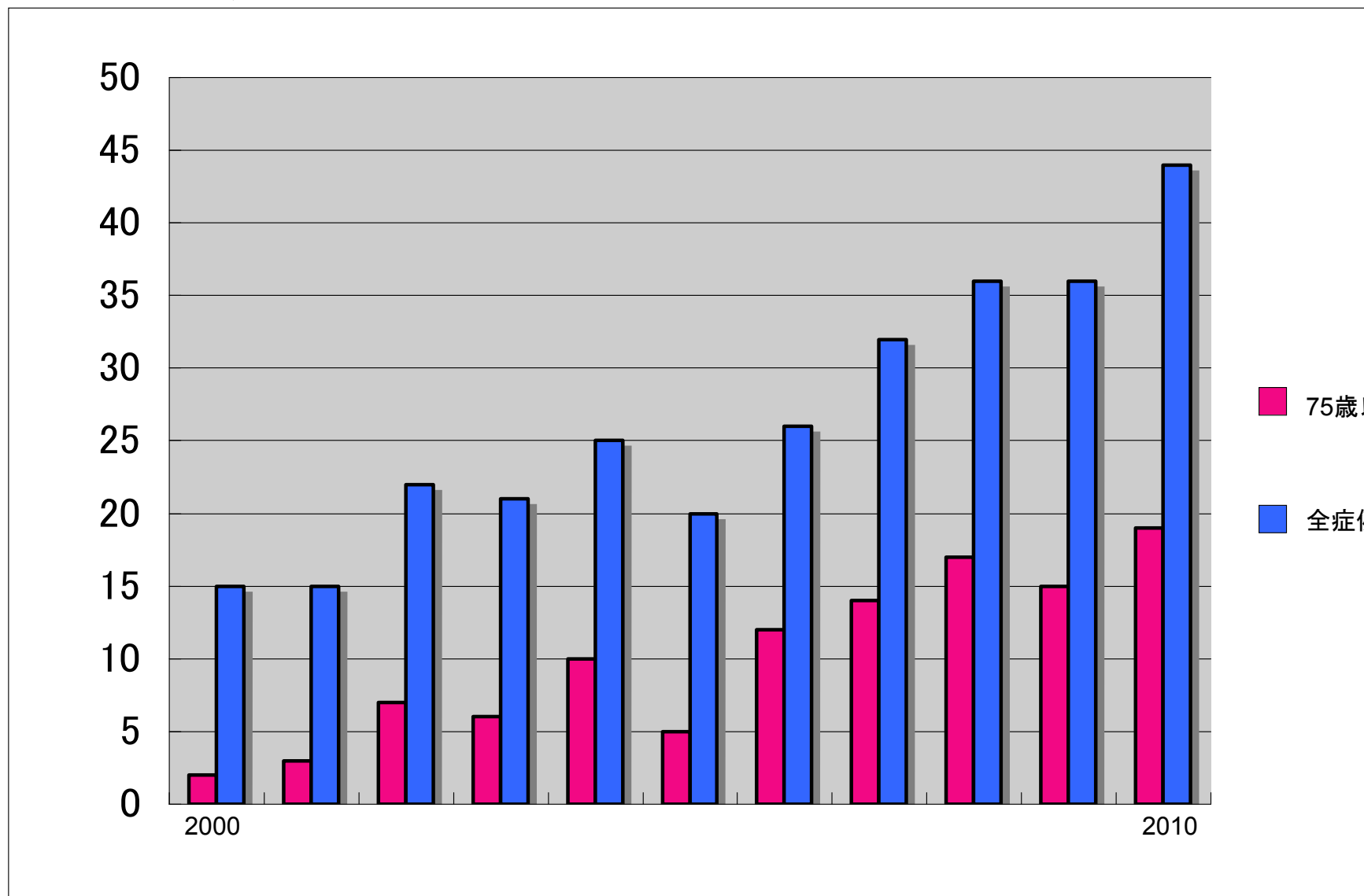
5生率 : 55.5%

(2000-2009)

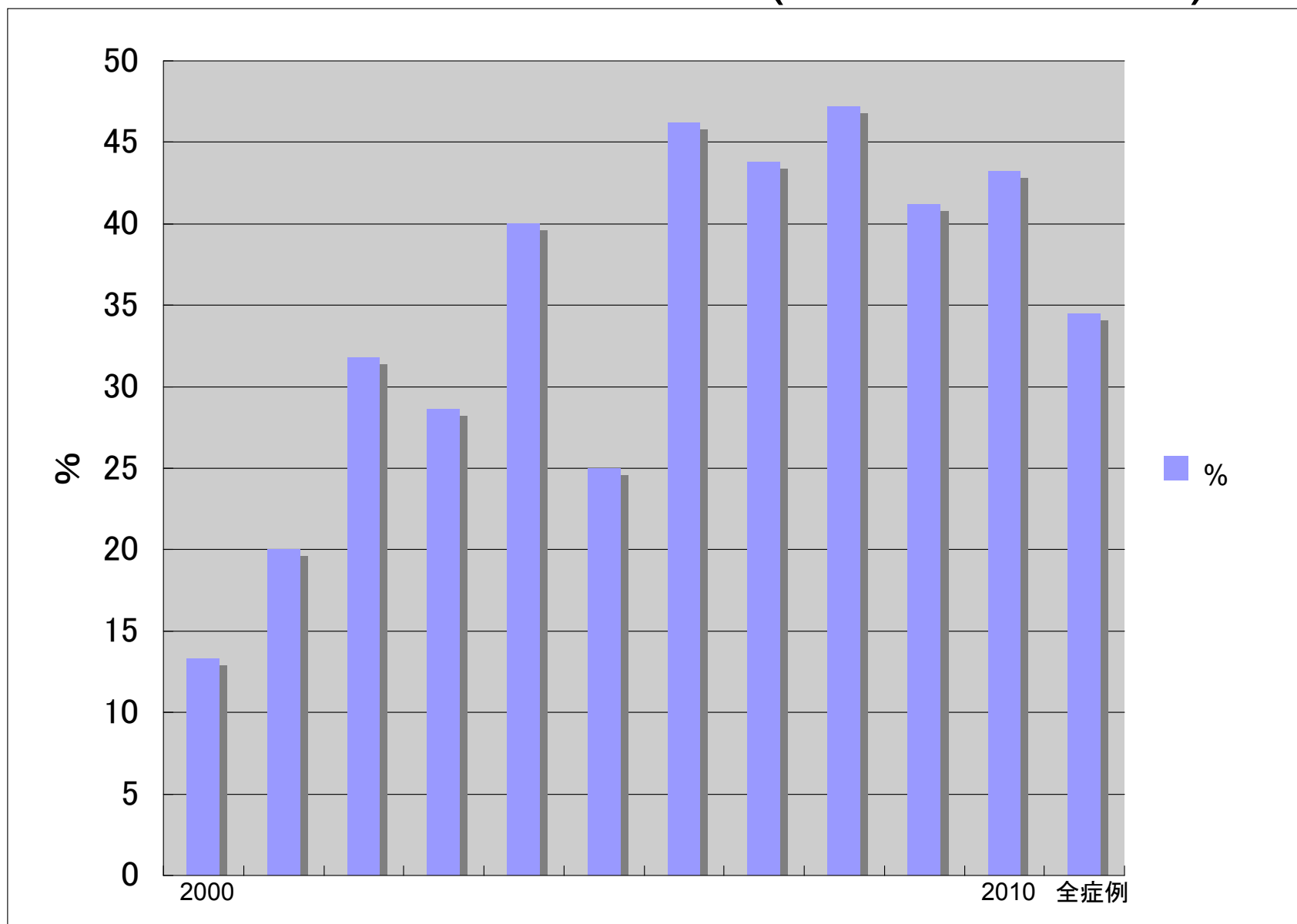
肺癌手術症例：年齢分布



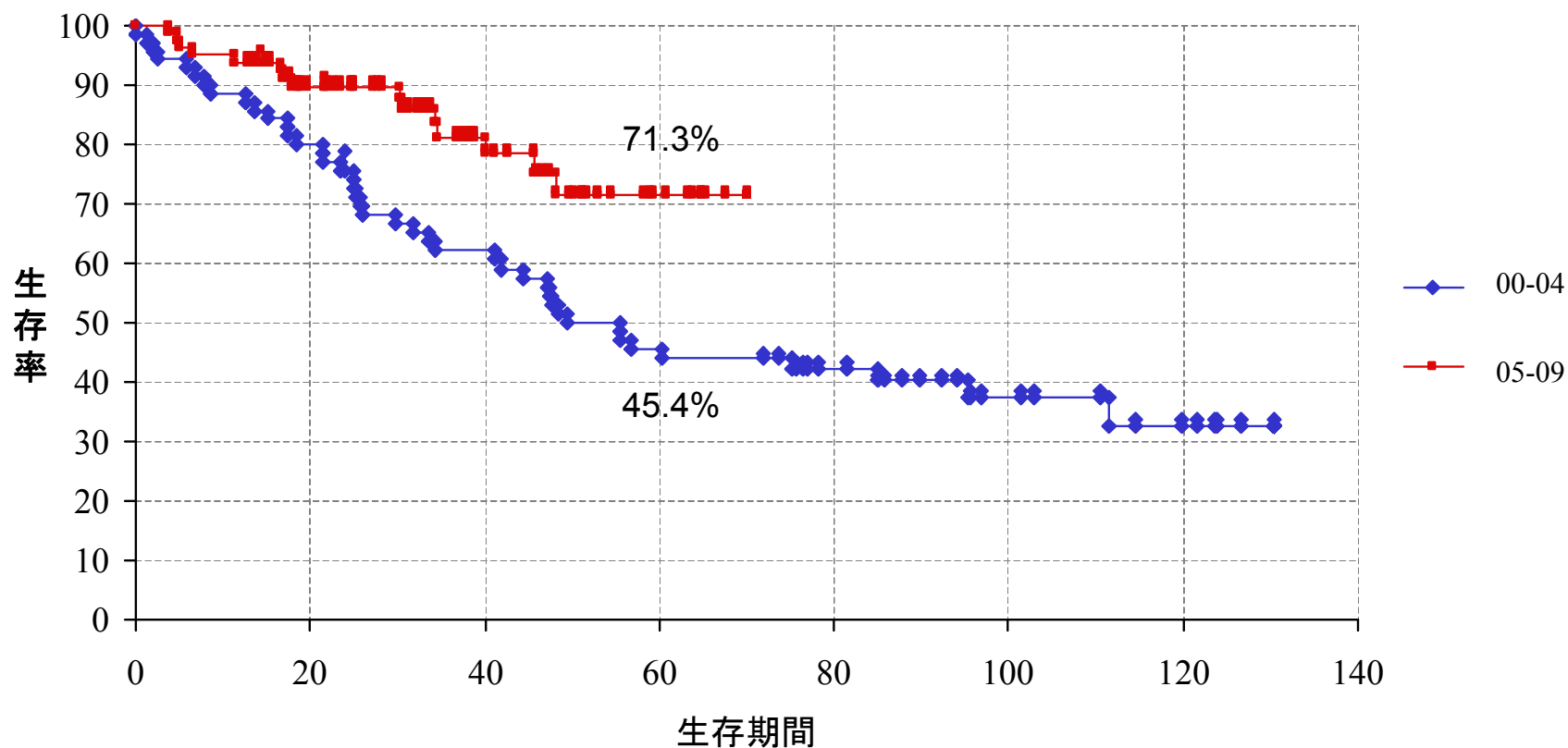
非小細胞肺癌切除症例年齢比較



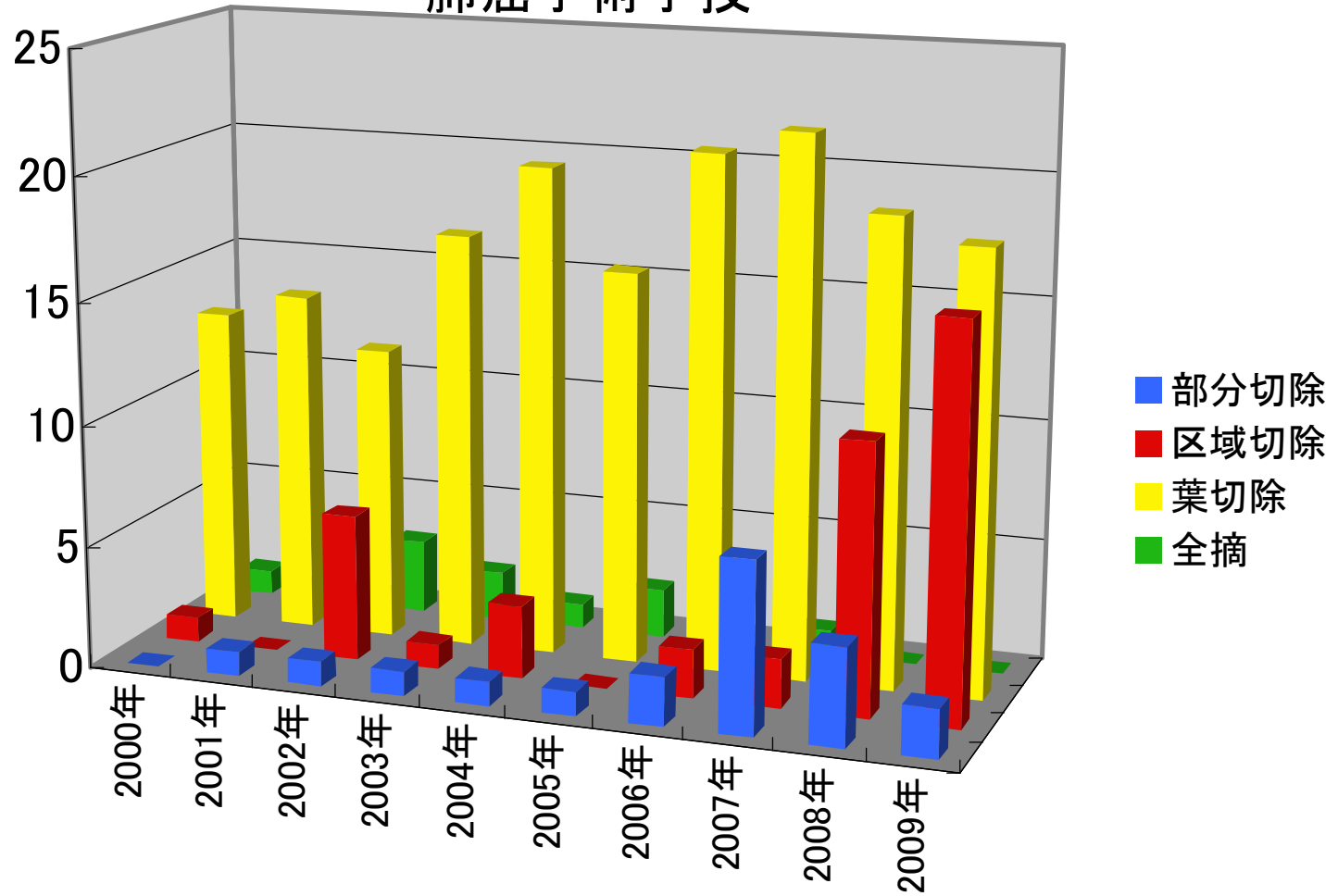
非小細胞肺癌切除症例(75歳以上割合)



74歳以下00-04,05-09生存曲線



肺癌手術手技



縮小手術

区域切除全症例(2000～2009年) 45例

積極的区域切除 25例

腫瘍径(0.6～2.4cm 平均1.472cm)

リンパ節転移 2例

他病死 1例

消極的区域切除 20例

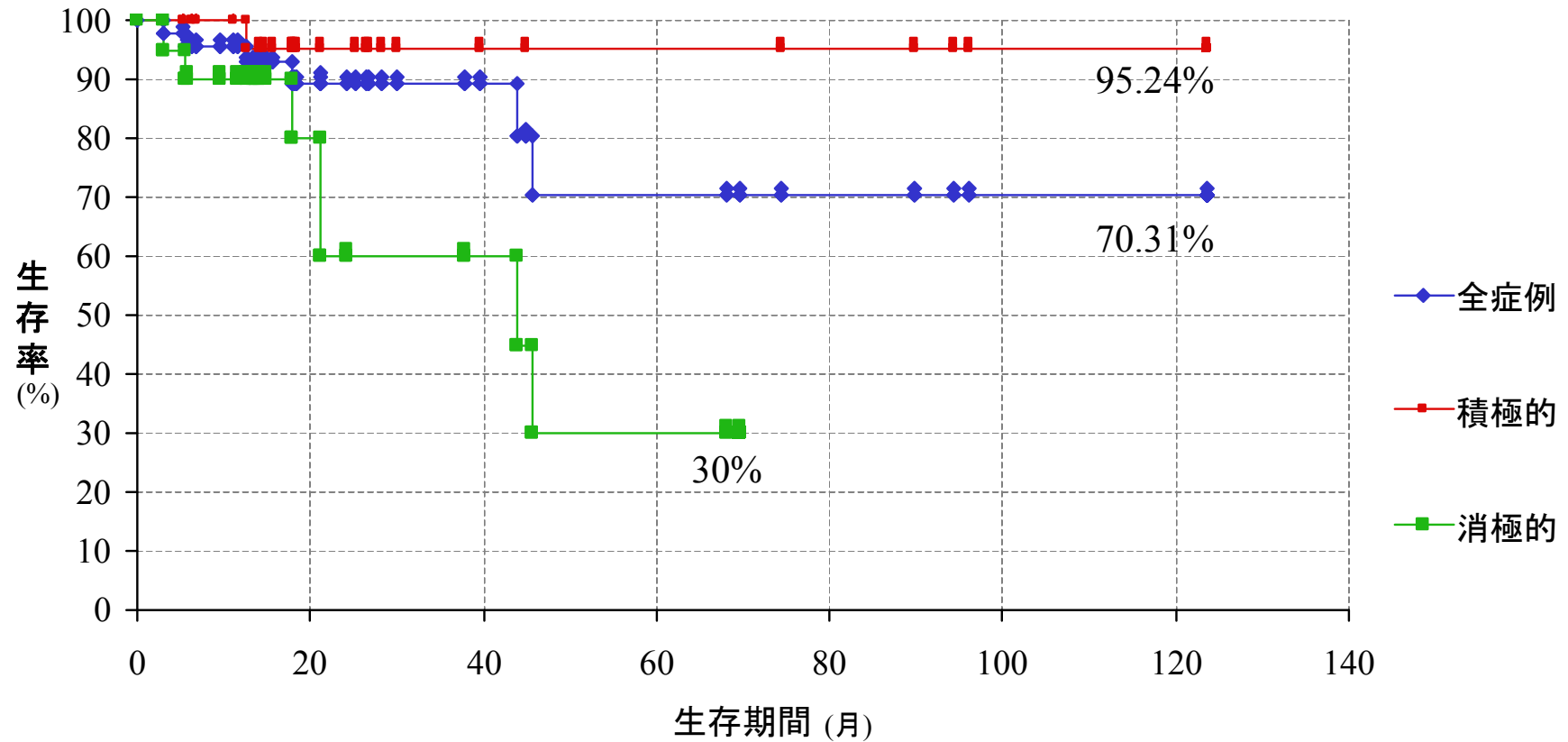
腫瘍径(1.1～5.0cm 平均2.555cm)

リンパ節転移 1例

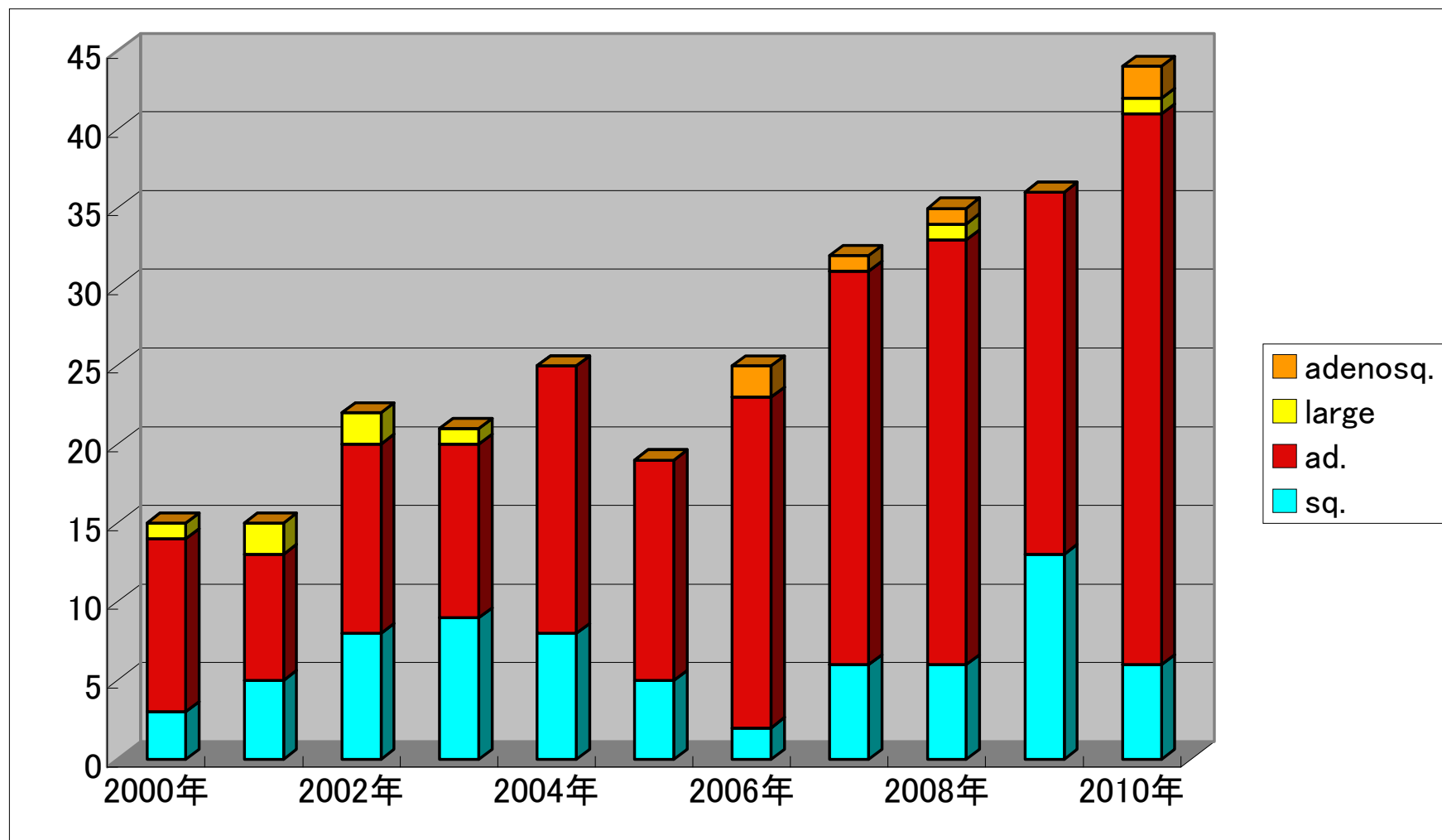
原病死 2例

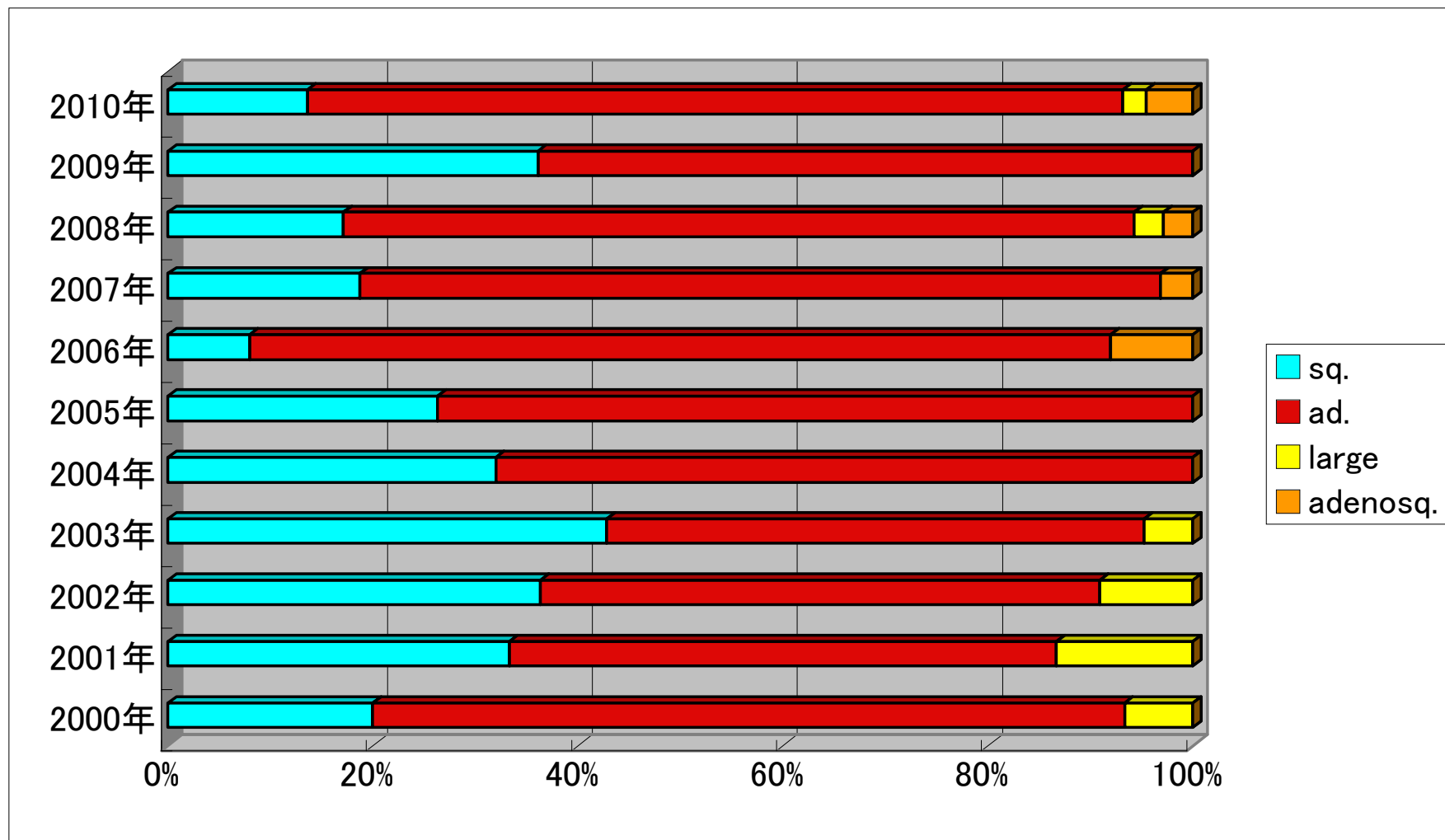
他病死 5例

区域切除施行症例生存曲線



非小細胞肺癌組織分類

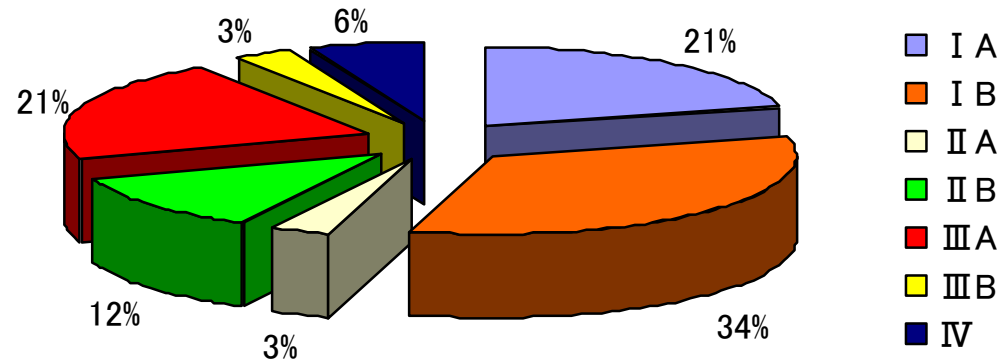




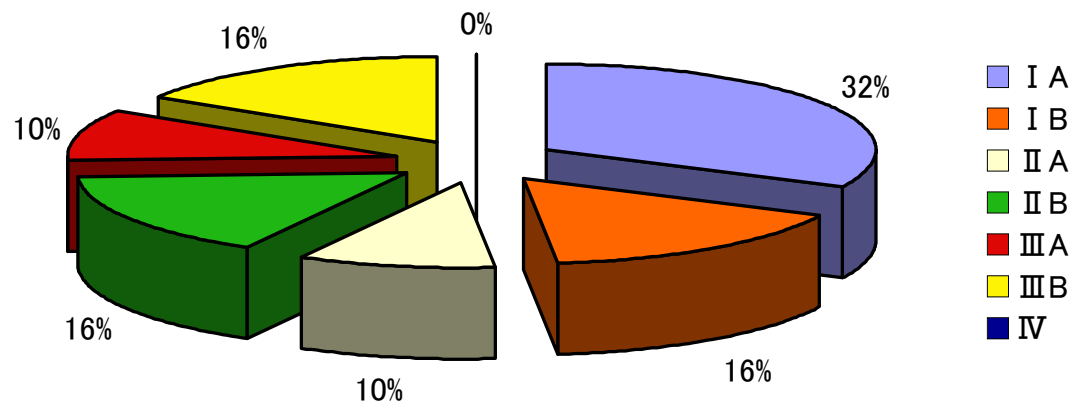
扁平上皮癌=24.6%
腺癌=70.6%

扁平上皮癌病期別症例分布

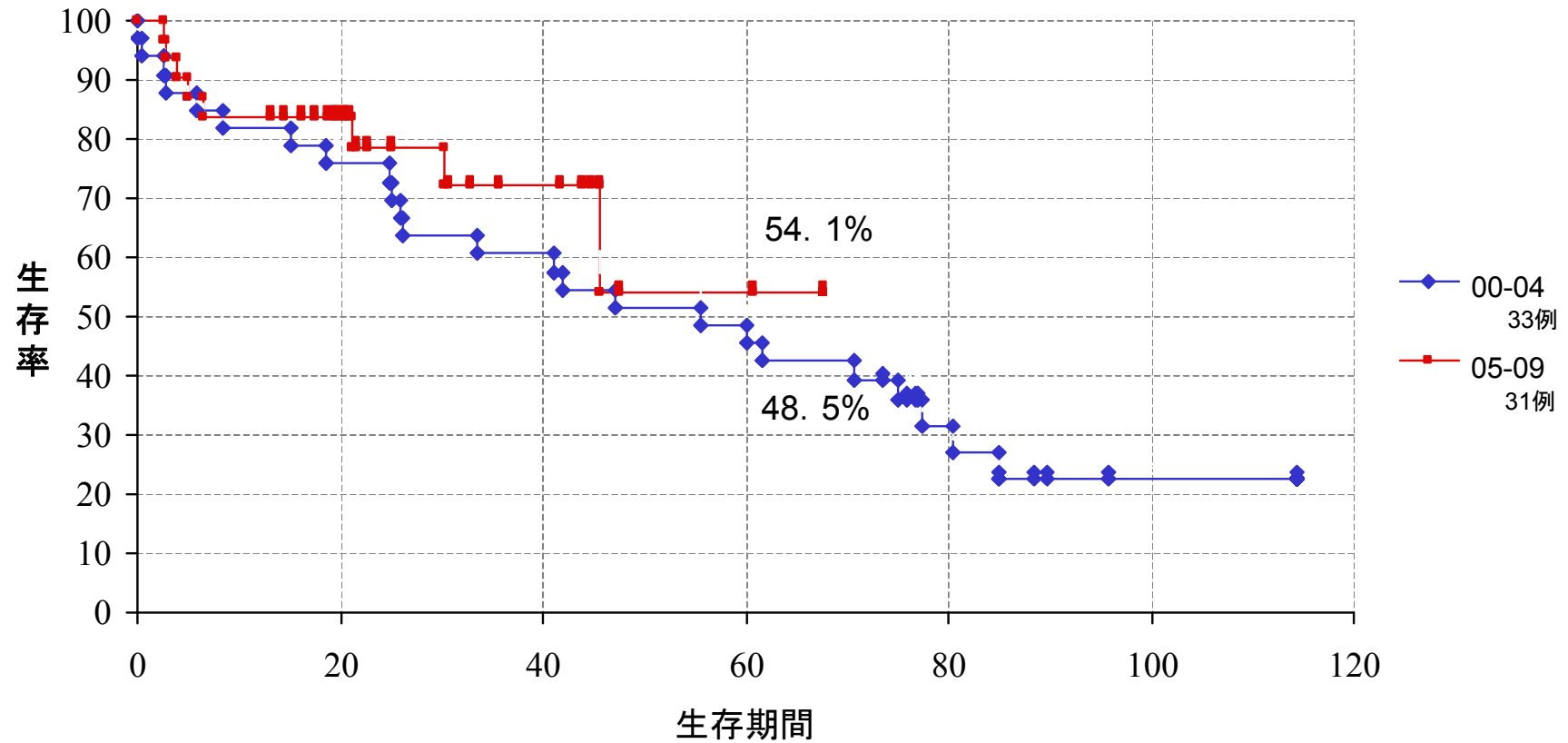
00-04年



05-09年



扁平上皮癌切除症例生存率

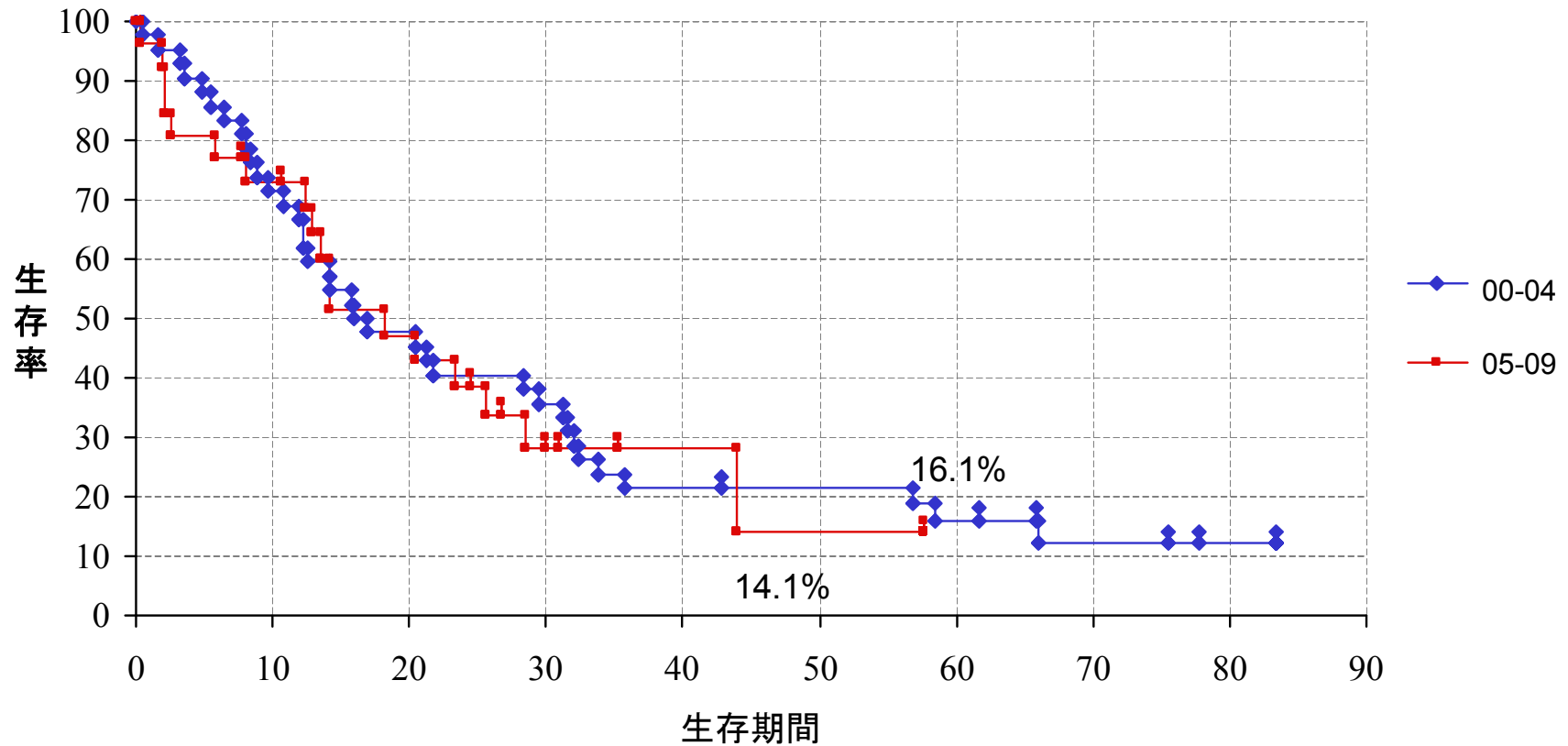


全症例(64例)5生率=51.9%

異時性再発症例

局所再発	18例	11/98	7/142
遠隔転移再発	35例	23/98	12/142
局所＋遠隔再発	16例	8/98	8/142

再発後生存曲線



予後改善の理由！

- 1.2005年にMDCTが導入された
- 2.2005年に三船先生が赴任した
- 3.2007年に巻幡先生が赴任した
- 4.呼吸リハビリ、口腔ケアなど術前管理が向上した
(コメディカルによるチーム医療の充実)
- 5.麻酔科、手術室チーム、ICUチームによる
周術期管理が向上した
- 6.術者の技能がチョツピリ向上した??